

Close-up

スパイスのおいしさと香り漂う

ゴードカフェ

東京都世田谷区・松陰神社前にある「ゴードカフェ」。
温かな雰囲気の店内でゆったりとした時間が過ごせます。
看板料理「ボンベイサンド®」や「キーマカレー」はクセになる味わい。
何度も通いたくなる魅力がいっぱいの街の人気店です。

ボンベイサンド®

野菜やチーズ、オムレツなどが入った、西インド・ムンバイのご当地サンド。マスタードの代わりに塗る、青唐辛子やパクチーが入ったグリーンチャツネが味の決め手。



ボンベイサンド®カレー

「キーマカレー」と「ボンベイサンド®」が合わさったボリューム満点のメニュー。看板料理を一度に味わいたい方はこちらがおすすめ。



ゴードカフェ サンドイッチスパイス

「ゴードカフェ」のオリジナル商品。振りかけるだけで手軽においしさアップ! サンドイッチや卵料理、パスタ、サラダなどによく合います。

カフェで気軽に社会貢献 「ヒマラヤン・ブルームズ」 コットンバッグ

店内では、インド・ヒマラヤ地方で女性の自立支援などを行う非営利団体「ヒマラヤン・ブルームズ」の商品を輸入販売。カラフルでキュートなタッセル付きのコットンバッグは、ヒマラヤの女性たちによるハンドメイド。



INFORMATION

ゴードカフェ

創業 2017年
所在地 東京都世田谷区若林4-30-9 グリーンハウス1F
TEL 03-6413-8019
営業時間 平日(ランチ)11:30-15:00
(ディナー)18:00-21:30(宴会・貸切は予約制)
土・日・祝日 11:30-18:00/木曜定休
Twitter @goda_cafe

あなたの夢を公的保証でバックアップ!



東京信用保証協会では、創業を予定している方から創業して間もない方までを対象に「金融支援」と「経営支援」の両面から継続的な支援を行っています。

多様化する创业者のニーズにきめ細やかに対応するため、まだ明確なビジネスモデルをお持ちでない方や、すでに具体的な行動を起こされている方など、状況に合わせたサポートメニューを用意し、支援体制の充実に取り組んでいます。

〈金融支援〉保証申込・相談窓口

当協会は、創業時や創業後に金融機関の融資を受ける際に公的な保証人となって、借入をスムーズにし、企業の成長を金融の面からサポートしています。東京都内11支店※に創業支援窓口「創業アシストプラザ」がございます。

担当地域制をとっていますので、法人(設立予定を含む)の方は本店または事業所の所在地、個人の方は住居または事業所の所在地を担当する窓口にお気軽にご相談ください。

※詳しくは当協会ホームページをご覧ください。

〈経営支援〉創業者向けセミナー・スクール

創業スクール

都内で創業予定の方で具体的な創業プランをお持ちの方を対象とした、週1回全8回のスクールです。外部講師を招き、講義・個人ワーク・グループ演習を毎回行うことで、資金調達の際などに、「人に見せて話せる」創業プランの作成を目指します。

また、当協会の職員がアドバイザーとなり、講師と一緒に創業計画のブラッシュアップをサポートします。創業時に、借入による資金調達をお考えの方に特におすすめです。

創業セミナー

中小企業診断士・税理士・弁護士等の専門家を講師に招き、お好きな講座を受講していただける選択受講制のセミナーや、先輩起業家の体験談、女性の起業を後押しする女性限定セミナー等、様々な切り口から事業に役立つ知識を学べるセミナーをご用意しています。当協会職員による保証協会ミニセミナーや個別相談会も実施しており、創業に際して資金調達を検討している方や創業後に経営のヒントを得たい方にも最適です。

専門家派遣

当協会の保証をご利用いただいているお客さまで創業から間もない方を対象に、中小企業診断士等の専門家派遣を行っています。ご自身で作成した計画をもとに実際に創業してみると、思うように事業が軌道に乗らないことや、予想していなかった課題が浮上することがあります。専門家がお客様のもとに直接訪問し、当初の計画を見直すことで、現状の課題を洗い出すとともに、その解決に向けた改善策についてアドバイスを受けることができます。

Start-up Story

創業からはじまる、新しい未来。

INTERVIEW

ゴードカフェ代表
小田隆之さん



START-UP STORY

〈発行〉東京信用保証協会 経営支援部 2022年10月
〈WEB〉<https://www.cgc-tokyo.or.jp>



TOKYO GUARANTEE 東京信用保証協会

カフェ経営で起業

挑戦し続けられる 自分の居場所を

それまで会社勤めをしていた小田隆之さんは、得意だった料理や食の知識を活かして「ゴータカフェ」を開業。看板料理「ボンベイサンド®」は、日本ではここでしか味わえないオリジナルメニューです。地域のお客様からも慕われる小田さんに、創業の歩みや今後の展望についてお聞きました。



ゴータカフェ 代表
小田 隆之さん
Oda Takashi

1974年兵庫県生まれ。食関係の出版社、食品輸入販売会社に勤務後、2017年「ゴータカフェ」を開業。カレーや西インドのご当地メニュー「ボンベイサンド®」を提供するほか、オリジナルスパイスなどの商品開発・販売も行う。2020年「第4回世田谷キラリ輝く個店グランプリ」特別賞受賞。

MOVIE
インタビュー
動画はこちらから



こだわり抜いた店づくり

私は食関係の出版社や食品輸入販売会社に勤めていたり、祖母がお好み焼き屋を営んでいたこともあって、以前から飲食業には興味がありました。転職は30代半ばで、将来について考えた時に、会社の仕事も楽しいけれど「何か新しいことをやってみよう」と思うと同時に、「長く働き続けられる自分の居場所を作りたい」という思いから飲食店での創業を考え始めました。

創業を決意してからは、資金を貯め、料理教室にも通うようになりました。物件探しは、「全面ガラス張りの路面店」というイメージにこだわったせいか難航して、54件目でやっと決まりました。35歳から準備を始め、2017年、43歳で会社を退職し創業しました。創業まで8年かかりましたが、しっかり準備できたのはよかったと思います。

困った時のために 手元資金は余裕を持って

少しずつ資金を貯めていたので、融資を受けるつもりはなかったのですが、創業時に相談した中小企業診断士に「何か困った時のために借入れをしておいた方がよい」とアドバイスを受けました。そこで事業計画を作成し、東京信用保証協会の保証制度を利用し、金融機関から融資を受けました。融資を受ける過程で、中小企業診断士のほか、区役所や信用保証協会にも事業計画を見ていただき、計画をブラッシュアップできたこともよかったと思っています。

ただ、借入れ当初は半年分ほど運転資金があれば十分だと思っていましたが、創業2年目に売上が下がった時に、資金がどんどん出ていくので気持ちに余裕がなくなってしまっ…。困った時のため

に、運転資金は1年から1年半分くらい持っていた方がよいと思いました。この経験から、手元資金の大切さをあらためて学びました。

コロナ禍で新事業に チャレンジ

飲食業は廃業率が高い業種といわれますが、先ほどお話ししたように、創業2年目、私のお店も新メニューを出しても売上が下がるようになり、こんなに頑張っても売上が伸びないなら辞めようかと悩みました。そんな時、「世田谷キラリ輝く個店グランプリ」の最終選考に残っていることを知り、応援してくれる人がいるのなら、もう少し頑張ろうと思い直しました。

その後、コロナ禍でも売上は大きく下がりました。ただ時間だけはたくさんあったので、意識を変えて、余った時間で以前からやってみたかったオリジナルスパイスの商品開発に力を入れました。その商品「ゴータカフェ サンドイッチスパイス」は無事完成し、現在、通販や店舗で販売しています。

ワンポイント アドバイス 守りたい商標は、ぜひ登録を!

商標登録は、「お店や商品を守ること」です。商標権の取得は早いもの勝ちなので、先に誰かに取られてしまうとトラブルの元になります。例えば、先に取得した相手から商標の使用を中止させられたり、損害賠償を請求される場合もあります。「ボンベイサンド®」を商標登録するまでには、約1年かかりました。商品名などがすでに登録済みだ

飲食店だけに頼らない 新しい事業の柱を

お店の看板メニューは、「ボンベイサンド®」という、西インド・ムンバイのご当地料理。創業前にムンバイで学び、日本人向けに味をアレンジした当店のオリジナルメニューです。お客様の中には、週4日も通ってくださる常連さんもいますし、私が心配すると思って「来週は来られないから」とわざわざ声をかけてくださる方もいます。お客様にはいつも支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいですね。

飲食店を始めるにあたって、当初から他の店では食べられないオリジナルメニューを出したいという思いがありました。「ボンベイサンド®」を守るために商標登録を行い、無事に登録することができたので、安心して経営ができています。今後は、「ゴータカフェ サンドイッチスパイス」の営業、新しいソースやスパイスなどの商品開発を進め、商標登録も積極的に行っていきたいです。飲食店だけに頼らず、物販も新しい事業の柱としていくことを目指しています。



と特許庁の許可が下りず、再出願になり、さらに時間がかかるケースもあります。そのため、同じ名前がないか、特許庁の登録リストを事前に確認しておくことが大切です。私の場合、登録までの費用は10数万円かかりましたが、自治体に補助金制度があったので活用しました。店のブランドを守り、成長への力になるので、商標登録をおすすめします。